

C-26 パンティストッキングの寸法基準設定に関する試案 (30~69才)  
三重大教育 伊藤令子 武庫川女大家政 栗屋秋子 ○高橋千佳子

目的 大阪市内及びその周辺に在住する30~69才の女子482名の身体計測を行い、その資料を用いて、下半身の形態を把握し、パンティストッキングの寸法基準設定を目的として研究を進めた。

方法 研究項目は、身長・足長・体重・胸囲・前胸高・後胸高・腹囲及びその高さ・腰囲及びその高さ・大腿最大囲及びその高さ・膝囲及びその高さ・下腿最大囲及びその高さ・下腿最小囲及びその高さ・並びに股の高さ・股上前後の長さの20項目である。各項目と対身長・対腰囲との相関関係を考察し、相関係数をもとにして、度数の推定を行い、身長・腰囲の2項目を用い、主要と思われる7項目の回帰推定を行った。

結果 高径項目では、下腿最小囲の高さを除いて、身長との相関が高く、周径項目は腰囲・体重との相関が高い。度数の推定結果、出現率の高い10体型を選び、体型別の基準寸法を算出した。パンティストッキングは、素材・編織の伸縮性によって、許容幅を検討しなければならないと思われる。